

耕

五年 画数 10
筆順 一 三 耒 耒 耕
オン コウ
クン たがやリす

成り立ち



地を耨く(土をほりおこすこと) 道具の「耨」の形を表した「耒」と、田の形を表した「井(昔、田を「井」の字形「圃」に九等分し、まん中を公田、他の八つを八家に耕作させました。これを「井田」と言いました)」とを組み合わせて作った字です。

「耨を使って、田を「たがやす」こと」を表した字です。例田を耕す、耕地、耕作、耕具、農耕。

「耕す」ことは、昔の人のだれもがした「仕事」でした。から、「仕事」という意味にも使われます。例筆耕。

使い方

▽近頃では、男手が足りないので、多くの耕地が荒れ果てているのは残念なことです。

▽田畑を耕作するのは、大変な重労働です。この重労働のおかげで、わたしたちは、米や野菜を食べることができるのです。方々の学校で、耕作の体験をする所が増えましたが、大変良いことだと思えます。

熟語例

- ▽耕地(耕された土地。田や畑のことです。)
- ▽耕作(田や畑を耕して、農作物をつくること。)
- ▽耕具(田や畑を耕す道具)
- ▽農耕(田や畑を耕すこと。また、そこから広く、農家の仕事の意味にも、つかわれます。「農耕に従事する」と言えば、農業を行う、という意味になります。)
- ▽筆耕(「筆の仕事」の意味で、文章や文字を書きうつして報酬を受ける仕事をする。また、そういう人のことを言います。)
- ▽晴耕雨読(晴れた日は耕作をし、雨の日は読書をする。こと。田舎に隠れ住む読書人の理想の生活とされています。)

鉷

五年 画数 13
筆順 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三
オン コウ
クン たがやリす

成り立ち



「広い」という意味の「弘(2年130)」と、「金(1年17)」とを組み合わせて作った字です。

「広い意味での金属」という意味の字で、「いし」ではあるけれども、金属をふくんでいる「金属を採る石」のことを表した字です。「鉷石」のことを表した字です。

地中に脈状に集まっていて、「鉷脈」と言いますが、そのようになつていて地中からほり出す物は、金属でなくとも「鉷」と言います。例炭鉷。

〔昔の字は、礞であった。金属をふくんでいる石は、黄鉄鉷、黄銅鉷のように黄色いので、「黄色い石」という意味で「礞」だったのである。後に、礞になり、鉷となつた。〕

使い方

▽鉷山(黄鉄鉷や黄銅鉷など、金属をふくんでいる岩石のこと。金属を採る石のことです。)

▽鉷物(金属質の物。動物、植物に対して、そのどちらにも属さない物を言います。動・植物が有機物で作られているのに対し、鉷物は無機物で作られているものです。)

熟語例

- ▽金鉷(金をふくんでいる鉷石。金を採る鉷山の意味にもつかいます。)
- ▽鉷山(鉷石を採る山。種類により、金山、銀山、銅山という言い方もします。)
- ▽鉷泉(温泉の温度の低いものですが、ふつう沸かして熱くするため、なかなか温泉と区別できません。)

使い方

- ▽鉷山で初めて黄銅鉷を見ました。金色にびかびかとしていたので、金鉷ではないかと思いました。
- ▽温泉は鉷物質をたくさんふくんでいるので、その種類によって、いろいろな病気に効くそうです。鉷泉はおんせんのように熱くないもので、沸かして温泉のようにしたものことです。

熟語例

- ▽鉷石(黄鉄鉷や黄銅鉷など、金属をふくんでいる岩石のこと。金属を採る石のことです。)
- ▽鉷物(金属質の物。動物、植物に対して、そのどちらにも属さない物を言います。動・植物が有機物で作られているのに対し、鉷物は無機物で作られているものです。)
- ▽金鉷(金をふくんでいる鉷石。金を採る鉷山の意味にもつかいます。)
- ▽鉷山(鉷石を採る山。種類により、金山、銀山、銅山という言い方もします。)
- ▽鉷泉(温泉の温度の低いものですが、ふつう沸かして熱くするため、なかなか温泉と区別できません。)